

単元名 7 価値を見いだす ―「不便」の価値を見つめ直す

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 筆者の意見とそれを支える根拠との関係を捉えることができる。
 (2) 筆者が結論に説得力をもたせるための工夫を、本文の記述や図表などを根拠にして文章にまとめることができる。
 (3) 説得力のある文章を書くための工夫を考えようとする。

標準的な展開例

10210217_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもち、初読の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 学習の見通しをもち、初読の感想を書こう。 ○ 「学習」(p. 184)を読み、学習の見通しをもつ。 <p>○ 本文を通読する。</p> <p>○ 感想を書き、発表する。</p> <p>2 「不便益」についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 「不便益」についてまとめよう。 ○ 「不便益」についてまとめる。 <p>○ 本時の振り返りをする。</p> <p>3 文章の要旨をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 文章の要旨を200字程度でまとめよう。 ○ 前時の学習内容を振り返る。 <p>○ 文章の要旨を200字程度でまとめる。</p> <p>○ まとめた文章を読み合う。</p> <p>○ 本時の振り返りをする。</p> <p>4 筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文の特徴を思い出し、段落同士の結び付きや構成を意識して読むことを確認させる。 ・ 学習の見通しをもたせる際に、学習のまとめとして自分の考えを文章にする活動があることを確認する。 ・ 教師が範読する。 ・ 国語指導CDを使用してもよい。 ・ 写真や表にも注意を向けさせる。 ・ 自分の経験と照らし合わせながら聞かせる。 ・ 次のような視点を与えて感想を書かせるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ① 初めて知ったこと ② 驚いたり感心したりしたこと ③ 疑問に思ったこと 【評】 感想を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 本文を音読させる。 ・ 「不便益」について、以下の観点でまとめさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ① 「不便益」の定義 ② 「不便のよい面」とその事例 ③ 「便利の悪い面」とその事例 ・ 学習プリントや「図1②」(p. 178)に書き込ませるなどして、整理させるとよい。 【評】 文章の内容を捉える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 学習プリントなどでまとめたものを見ながら、序論・本論・結論の中心部分を順にまとめていけばよいことを確認させる。 ・ 文章の言葉をそのまま書き抜くのではなく、簡潔に言い換えたり、まとめ直したりするようにさせる。 ・ 文章の要点や核を抜き出させるとよい。 ・ まとめの言葉を手がかりとして探す方法を示してもよい。 ・ 最初から200字程度にするのではなく、400字から200字に絞り込ませたり、マーカーで事例と意見に分けさせたりといった手順を踏むとよい。 ・ 「目的に応じて要約する」(p. 184)や「説明的な文章を読むために」(p. 266)を参考にさせる。 【評】 文章の要旨をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 3～4人のグループでまとめた文章を読み合い相互評価をさせる。 ・ 短くまとめるための工夫についても話し合わせるとよい。 【評】 話し合い活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 筆者の主張に対する自分の考えを，根拠を明確にして書く。 ○ 筆者の主張に対する自分の考えを明確にして，その根拠を挙げる。 ○ 400字程度の文章を書く。 ○ 書いた文章を読み合う。 ○ 学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「根拠を明確にして，意見をまとめよう」(p.185)を読み，筆者の主張に対する自分の考えを書くことを確認する。 ・ 自分の立場(共感・納得，疑問・反論)と根拠をノートに書く。 ・ 自分の立場と根拠が合っているかを確認させる。 ・ 考えが伝わりやすいように，初めに自分の立場を述べさせ，次に根拠を述べさせる。 【評】 根拠を明確にし自分の考えを書く活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。 ・ グループを作って文章を読み合い，感想を交流する。 ・ 立場の違う生徒を把握しておき，同グループにして読み合わせると見方が広がる。 ・ 要旨の捉え方や，筆者の主張の展開についてまとめる。 ・ 他教科や「総合的な学習の時間」では，テーマに沿った調査活動をすることが多い。調査結果を発表する際，重要な部分や伝えたい部分を選択し，自分なりの要約をした経験がこれまでにでもあることに気付かせたい。 【評】 単元を通しての振り返り活動を通して，「知識・技能」を評価する。
--	---

【 備 考 】
 論理的な表現は，展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える具体例などの付加的な部分などから構成されている。文章を読んだり，書いたりする場合はもちろんのこと，話し合う際にも，議論の中心となる論点を明確に捉えておくことは大切である。論点が明確でないと理解する場合も表現する場合もすれ違いが生じ，考えを深めることができなくなる。ここでは，論点を明確にすることを通して，読んだり書いたり話し合ったりしながら，考えを深めていく学習をする。